

愛育病院に通院または入院された(通院または入院されている)患者さまへ

— 臨床研究の情報公開 —

2022年 12月 17日
医療法人菊郷会愛育病院 院長

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた患者さまの記録などをまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、研究情報を公開し、研究の対象となることを拒否できる機会を保証することが必要とされております(研究対象患者さまのお一人ずつから直接同意を得ることはいたしません)。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の[問い合わせ先]へご照会ください。

[研究課題名]

インドレント B 細胞リンパ腫/マンツル細胞リンパ腫に対する ベンダムスチン治療の多施設共同後方視的解析

[研究機関・長の氏名]

医療法人菊郷会愛育病院 院長 岡本宗則

[研究責任者・所属]

医療法人菊郷会愛育病院 ・ 血液内科 泉山 康

[共同研究機関・研究責任者]

[研究代表者名・所属]

国立病院機構 北海道がんセンター 統括診療部長/血液内科 藤本勝也

[共同研究機関・研究責任者名 / 機関の長名]

北海道大学病院	血液内科	豊嶋 崇徳	/	病院長	渥美 達也
札幌北楡病院	血液内科	小笠原 励起	/	院長	目黒 順一
市立札幌病院	血液内科	山本 聡	/	院長	西川 秀司
斗南病院	血液内科	長谷山 美仁	/	病院長	奥芝 俊一
勤医協中央病院	血液内科	佐賀 智之	/	院長	鈴木 隆司
札幌厚生病院	血液内科	高畑むつみ	/	病院長	髭 修平
釧路ろうさい病院	内科	宮城島 拓人	/	院長代理	小笠原 和宏
旭川市立病院	血液内科	柿木 康孝	/	院長	斉藤 裕輔
市立函館病院	血液内科	伊東 慎市	/	院長	森下 清文
帯広厚生病院	血液内科	小林 一郎	/	病院長	大瀧 雅文
北見赤十字病院	第一内科	永島 貴博	/	院長	荒川 穰二
手稲溪仁会病院	血液内科	酒井 基	/	院長	古田 康
天使病院	血液内科	五十嵐 哲祥	/	院長	西村 光弘
札幌医科大学付属病院	血液内科	井山 諭	/	病院長	土橋 和文
旭川医科大学病院	血液腫瘍内科	進藤 基博	/	病院長	古川 博之
旭川厚生病院	内科/血液腫瘍	佐藤 一也	/	院長	森 達也
岩手医科大学付属病院	血液腫瘍内科	小宅 達郎	/	病院長	小笠原 邦昭

[研究の目的]

道内にある医療機関においてベンダムスチンで加療されたインドレント B 細胞リンパ腫およびマン
トル細胞リンパ腫症例のデータを集積し、多数例のデータを後方視的に解析することで、実臨床で
のベンダムスチン治療の認容性、有効性、さらに有効性が期待できる因子を検討すること

[研究の方法]

下記の患者さま情報を愛育病院血液病センターに設置した事務局に集約し集計、分
析を行う。

○対象となる患者さま

2010 年 12 月 1 日から 2020 年 12 月 31 日までの間に本研究に参加する機関に通院又は入院し、ベン
ダムスチンを含む化学療法を施行したインドレント B 細胞リンパ腫およびマントル細胞リンパ腫の
方

○利用するカルテ情報：2022 年 12 月 31 日までの情報を利用します

- ① 背景情報：性別
- ② 疾患情報：組織型、診断日、初回治療開始日、初回治療開始日から 24 ヶ月以内の進行の有無
(POD24)、ベンダムスチン治療直近の治療開始日
- ③ ベンダムスチン治療開始時情報：年齢、Performance Status、LDH、病期、節外病変数、Hb 値、
骨髄浸潤の有無、節性病変数、最大リンパ節直径、β2 ミクログロブリン、可溶性 IL-2 レセプタ
ー、白血球数と分画
- ④ ベンダムスチン治療内容：ライン数、治療開始日、併用化学療法、初期投与量、投与サイクル数、
次サイクル以降での減量、治療延期の有無、治療中止と理由、維持療法の有無、最大治療効果
- ⑤ 転帰：進行の有無と時期、次治療開始の有無と時期、生存の有無、死亡原因と死亡日、最終観
察日

[研究の期間]

実施許可日～2024 年 12 月 31 日（研究許可期間）

[個人情報の取り扱い]

利用する情報につきましては、お名前、住所など、ご本人と直接同定できる個人情
報は削除します。また、研究結果は学会や学術雑誌、データベース等で発表されます
が、その際もご本人と特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

北海道札幌市中央区南 4 条西 25 丁目 2-1

医療法人菊郷会愛育病院 血液内科 担当医師 泉山 康

電話 011-563-2211 FAX 011-522-1691